

## 新規受託項目

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別なご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

この度、下記項目につきまして、検査の受託を開始いたしますのでご案内申し上げます。

謹白



### 項目名

● 尿中シュウ酸

(依頼コード No.13228)

受託開始日 2019年11月1日(金) 受付分より

シュウ酸はカルシウムなどと難溶性の塩を作ることが知られており、尿路結石の約70～80%以上がシュウ酸塩によるものです。高シュウ酸尿症はビタミンB<sub>6</sub>欠乏症、食事、アスコルビン酸大量摂取などでみられますが、これらと尿路結石発生頻度との関係は不明です。しかし高シュウ酸尿症が尿路結石症のリスク因子の1つになることは明らかと考えられており、尿中シュウ酸濃度の測定は再発性尿路結石の予防と原因究明に有用です。また、常染色体潜性(劣性)遺伝の先天性疾患である原発性高シュウ酸尿症は、重症例では末期腎不全に至ることから、本症の診断においても尿中シュウ酸の測定が有用です。

- 当該検査の受託開始に伴い、現行のシュウ酸定量(依頼コードNo.00145)は2020年3月31日(火)受付分をもちまして、検査受託を中止させていただきます。

裏面に続きます

株式会社 **ビー・エム・エル**

本社：〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-21-3

総合研究所：〒350-1101 埼玉県川越市の場1361-1

☎ 049(232)3131 FAX 049(232)3132

検査項目検索用  
アプリ B-Book



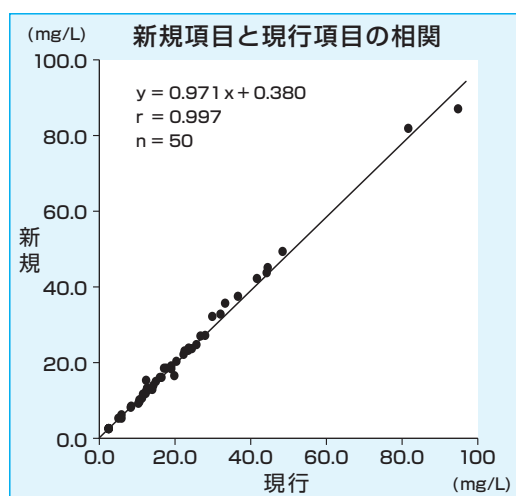
電子カルテはビー・エム・エル

**Qualis**  
Medical Station

## 受託要領

新		ご参考:現行の内容
依頼コード No.	13228	00145
検査項目名	尿中シュウ酸	シュウ酸定量-尿
統一コード	3E025-0000-004-237	3E025-0000-004-210
検体必要量	酸性蓄尿 3.0mL	同左
容器	U-1	同左
検体の保存方法	冷蔵(凍結不可)	冷蔵
所要日数	3~9	4~10
検査方法	キャピラリー電気泳動法	イオンクロマト法
基準値	8.9~41.0	同左
単位	mg/day	同左
報告範囲	5.0未満~最終値	0.1以下~最終値
報告桁数	小数第1位	同左
検査実施料/判断料	200点/34点(尿・糞便等検査)	未収載
備考	<p>6N塩酸10mLを入れた容器に24時間蓄尿してください。尿量を記入し、必要量をご提出ください。</p> <p>なお、尿量が少ないと予想される場合には、尿200mLに対して6N塩酸1mLの割合で添加してください。</p> <p>酸性蓄尿されていない場合、シュウ酸カルシウムが析出する可能性があります。</p> <p>また、凍結保存は避けてください。</p>	<p>6N塩酸20mLを入れた容器に24時間蓄尿。</p> <p>(pH2~4に保ってください。)</p> <p>尿量を記入し、必要量をご提出ください。</p>

## ご参考：相関図



自社検討資料

### 【検査方法の参考文献】

小川由英 他: 腎と透析 43(臨増), 151-157, 1997.